1.「大阪商業大学における起業教育」

大阪商業大学　リエゾンセンター長　南方建明

本学が立地する東大阪市は、“中小企業のまち”として知られています。本学は地域の産業界や地域の皆様に支えられ、またその起業家精神に学びながら、社会における問題を発見し、その解決を図る能力を育成する「実学教育」に注力してきました。

しかし今日、IT革命やグローバリゼーションがすすむなかで産業構造が変化し、地域の活性化が喫緊の課題となっています。このような状況のもとで、社会と連携した「起業教育」をさらに深化させ、起業家精神旺盛な人材の育成につとめたいと考えております。

本学における「起業教育」は、必ずしも起業家育成を目標とするものではなく、起業家精神の涵養と起業家的な資質・能力の育成を主たる目標としています。すなわち、必ずしも経営者を育てる、起業家を育成する教育ではなく、そのような資質と能力を持った人物を育てる教育と位置づけています。

本学の学生を対象とした起業教育

本学では起業教育を全学的に推進しており、社会の様々な問題を発見し、解決策を考え、その解決に向けて行動する現場（フィールド）を地域の商店街や企業などに求め、大学で学んだ理論を現実の社会で適用していく「実践教育」をすすめています。学生の実践教育の場として現場（フィールド）の提供を受けるとともに、教員がもつ知的資産や学生の行動力・創造力を社会に還元し、地域活性化に貢献しようというものです。

実践教育を通して、学生が社会の現状を分析し、その中から社会が抱える問題点を発見し、解決策を見出し自らそれを遂行していく能力（社会的問題解決能力）を養成していきたいと考えています。学生たちは、問題発見・問題解決の方法を学び、創造力、判断力、行動力、コミュニケーション能力、協調性などの素養を身につけていきます。

また、新しい商品・サービスやビジネスモデルのアイディアを競う「ビジネ

ス・アイディアコンテスト」を実施し、平成21年度には695件の応募がありました。さらに、起業教育のテキストとして『大学生のためのアントレプレナーシップ入門』を作成し、様々な講義科目を通して、アントレプレナーシップの育成につとめています。

本学では、地域の起業家など第一線の経営者を招いて現実の経営問題について学ぶ講義科目「地域社会と中小企業」を開講しています。東大阪市に立地している大学としての特色を活かして、理論だけではなく経営者の生の声を学生たちに伝えたいと始めたものです。

さらに、学部には起業教育に特化した特別コース「大阪商業大学ビジネス・パイオニアコース(OBP)コース」、大学院には新しいビジネスモデルの創造とその継続的革新を担う人材を育成する「経営革新専攻」を設置しています。

本学では自らの商品やサービスのアイディア、新しいビジネスモデルを世に問うために起業しようという学生やOB、広く社会人向けに、インキュベーション施設「大商大アントレ・ラボ」、ベンチャー投資制度など、社会科学系の大学としては数少ない総合的な起業家育成プログラムをもっています。

高等学校と連携した高校生対象の起業教育

このような本学学生を対象とした起業教育にとどまらず、本学と高等学校が連携して、高校生を対象とした起業教育をすすめています。具体的には、本学教員と高校教員が起業教育に関する情報を交換し、起業教育の方法論や教育成果の評価方法などについて研究していく「起業教育研究会」を実施しております。これまで13回の研究会を開催してきました。

起業教育研究会には、普通科、商業科、農業科、工業科など、様々な学科の様々な科目を専門とする先生方が参加しています。研究会では、起業教育に関する情報交換をおこなうとともに、起業教育の方法論や教育成果の評価方法などを研究しています。起業教育研究会では、高校での起業教育のための実践的な指導書である『高校生のための起業教育ワークブック』を作成、また全国の高校教員が相互にネットワークを広げ、起業教育の活性化を図るためのWebサイトを運営しています。

さらに、高校生を対象として新しい商品やサービスのアイディアを競う「ビジネスアイディア甲子園」を毎日新聞社と共催で実施しています。第8回目となる平成21年度には約5,832件の応募がありました。

高校生も、将来は何らかの形でビジネス社会にかかわる方が多いわけですが、高校生の時からビジネス社会に関心をもつことは、将来の自らの進路を考える

にあたっても、大学に進学して目的意識をもって学ぶ上でも重要だと考えたからです。

起業教育を通した社会への貢献

本学の起業教育プログラムは、平成16年度に文部科学省「特色ある大学教育推進プログラム（特色GP）」に採択され、平成19年度には大学では唯一、創業ベンチャー国民フォーラム「起業教育賞」を受賞しました。

さらに、平成20年度には、「実践教育による社会的問題解決能力の養成―フィールドワークを活用したプロジェクト型演習の導入―」というテーマで、文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」に採択されました。

「特色GP」「教育GP」ともに、特色ある、優れた実践をおこなっている大学を選定し、その取組を広く社会に発信していくことによって高等教育の質の向上を目指すもので、本学は「起業教育」のリーダー的存在であると自負しております。

起業教育を通した起業家精神あふれる人材の育成、さらには社会の協力を得た実践教育をいっそう充実させるとともに、大学が蓄積してきた知的資産を社会に還元し、また学生のもつ行動力や創造力を生かして地域活性化に貢献していく所存です。